

前回定例会（平成18年11月1日）以降の行政の動き

平成18年12月6日
新 潟 県

1 安全協定に基づく状況確認等

○ 平成18年11月8日 月例状況確認 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 1～7号機運転保守状況等について
- ・ 不適合管理状況の概要（9、10月分）について
- ・ 使用済燃料保管状況（平成18年度第2四半期）
- ・ 放射性廃棄物管理状況（平成18年度第2四半期）
- ・ 放射線業務従事者線量管理状況（平成18年度第2四半期）

2 平成18年度原子力防災訓練について

11月10日に原子力防災訓練を実施しました。

訓練は、シナリオ非提示型(事前に訓練内容を知らせない)方式で、通信連絡、要員参集、緊急時モニタリング等を実務者中心に実施しました。（31機関 約220人）

3 放射性物質の管理に係るトラブルについて

使用済燃料輸送容器保管庫で微量の放射性物質が検出され(11月6日東京電力公表)、定期検査中の7号機において作業員が微量の放射性物質を体内に取り込むという(11月9日東京電力公表)放射性物質の管理に係るトラブルが続いたことから、東京電力に対し、放射性物質管理の徹底について口頭で要請し、11月17日に原因と再発防止対策について報告を受けました。

4 発電所港湾内でのコバルト60の検出に係る追加調査結果について

8月22日に公表された海底土からのコバルト60の検出について、11月27日開催の環境放射線測定技術連絡会議^{*}で、東京電力から追加調査の結果、新たな検出はなく、発生源は特定できなかったとの報告がありました。（同日、東京電力が結果を公表）

※ 県、柏崎市、刈羽村及び東京電力の放射線監視担当者と構成し、環境モニタリング結果の技術的検討を行う。

5 柏崎刈羽原子力発電所におけるデータ改ざん問題について

11月30日に公表された柏崎刈羽原子力発電所の冷却用海水の温度のデータ改ざんについて、12月1日に知事、柏崎市長、刈羽村長の三者連名で東京電力に対し別紙のとおり申し入れを行いました。